

令和6年度 第1回 浜松中部学園運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月14日（火） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松中部学園 会議室
- 3 出席委員 齋藤 正、村井 秀行、三浦 一哲、神村 佳宏、鈴木 康子、広瀬 恵子
三ツ井 りか
- 4 欠席委員 藤野 直也、木村 勝、成瀬 仁代、大石 将和、鳥居 浩幸
- 5 学 校 岡本 雅康（校長）、星宮 ちさと（教頭）、袴田 暁広（教頭）
影山 直巳（主幹教諭）、井上 佐矢子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 井上 佐矢子
- 8 会長の選出及び副会長の指名
司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、齋藤委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選出された齋藤委員から、村井委員を副会長に指名する旨の報告があった。
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、村井委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
 - (1) 学校運営基本方針について
 - ・ グランドデザイン
 - ・ 経営構想
 - (2) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
- 11 会議記録
司会から、委員総数12人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
 - (1) 学校運営基本方針について
議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。
 - ・ 子ども同士主体的に解決するグループワークが増えている。よりよいグループディスカッションをしていくための方法等を子どもたちに伝えているか。（広瀬委員）
相手の話をしっかり聞き、理解する、聞き方の指導。色々なチャンスを与えて、その子にあった状況を作り、機会を与えることが大切。また、話しやすい雰囲気づくりも大切。このような指導を引き続きしていきたい。（岡本校長）
 - ・ コロナ禍で落ちた子どもの体力低下について。体力テストの評価が悪い。何よりも体力が大切。体力向上の取り組みをやってもらいたい。（齋藤委員）
ゲーム、スマホの普及により、全国的に体力が落ちている。遊び場が少なく、家で遊ぶ方

が楽しくなってきたため、体を動かす機会も少なくなってきた。また、中学の部活の時間も少なくなってきた状況。休み時間は外で遊んでいる子も多く、プラスに働いていると思う。(岡本校長)

- ・地域で取り組むようなことがあれば協力したい。(斎藤委員)
- ・放課後のグラウンドの開放を実現してほしい。人間関係の土台作りにもなる。(広瀬委員)
検討していきたい(岡本校長)
- ・さらに伸ばしてもらいたいことが2つ。1つ目は掃除。自分の学び舎をきれいにすることを大切に。続けていけば、社会人になっても根付いていくと思う。2つ目は子どもとの人間関係を大切にしてほしい。厳しさがあってもよい。親身になって叱ることも大切。(村井委員)
- ・自分の子どもへのかかわり方を考えさせられた。指導が行き届いている。(三浦委員)
- ・スポーツもやりながら勉強もする生徒へ。是非スポーツもやってほしい。(神村委員)

主幹教諭より別紙に基づきチャレンジ学習についての説明があった。

- ・宿題は受け身になってしまうが、これは自分で課題をみつけて解決でき、大変良いこと。問題を見つけ出すことが大切。(斎藤委員)
- ・これができる子は社会に出てからも伸びる。成功させてほしい。協力できることはしていきたい。(村井委員)
- ・チャレンジ学習は素晴らしい取り組み。社会に出て活躍できる力になる。(鈴木委員)
- ・チャレンジ学習は良いと思う。次回取り組みの様子を教えてほしい。(三ツ井委員)

(2)夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

議長の指示により、星宮教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について説明があった。

その他報告事項等

年間計画の確認。

司会から、次回の会議は、再調整して、さくら連絡網にて連絡する旨の報告があった。